

特別企画：働き方改革を加速させる新しいコミュニケーションのヒント Vol.1：

みんな始めてる!?!働き方改革を加速させる取り組みとは？

労働人口の減少が深刻化する中で「働き方改革」が国策となって以来、多くの企業がさまざまな改革に取り組んでいる。

しかし、「生産性の向上」とはいうものの、どのような取り組みに即効性があるのか、業種によってもさまざまで、まだまだどここの企業でも試行錯誤しているのも事実だ。

なぜ、働き方改革がうまくいかないのか――。

その理由の一つに挙げられるのが「働き方改革自体が目的になってしまっている」ことだ。



成果を上げている企業が実践している「働き方改革の試み」とは

「働き方改革自体が目的になってしまっている企業」がやりがちなのが、“早く帰れるようにする施策を何も打つことなく”、社員に「早く帰れ」と言い続けるような取り組みだ。本来、働き方改革は、「いかに社員の力を最大限に発揮できる環境を作り、生産性を高めていくか」を考えることが重要なのに、具体的な施策もなく一方的な号令を発するだけでは、これまでと何も変わらないどころか、社員のやる気も生産性も著しく減退させてしまう。

働き方改革は本来、変化の時代に「オンとオフのバランス」「自分たちの会社がどうありたいか」「創造性の向上」を考えることをスタート地点にして、その“ありたい姿”を実現するために、これまでの働き方の“どこをどのように変えていけばいいのか”――を考えるのが王道だ。

そんな「本質的な働き方改革」を実現するために、コミュニケーションの向上やチームコラボレーション（協創）、生産性改善とあわせてオフィスづくりが注目される中で、ITは今後ますます大きな役割を担っていくはずだ。

本企画では、働き方改革の効果を高めるための取り組みについて、多くの企業で共通の課題となっている生産性アップのための施策「会議の効率化」と、それに合わせた「設備・インフラのアップデート」を中心に紹介する。

#SHIFT by ITmediaビジネス
ONLINE

2019年09月10日 公開記事

法人向けブラビアについて 詳しくは Webサイトへ ▶sony.jp/bravia-biz/

ソニーマーケティング株式会社

ご購入に関する相談は
法人のお客様向け購入相談デスク

☎ 0120-30-1260

- 携帯電話・PHS/一部のIP電話などでご利用になれない場合がございます。
- 受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日 休み）

お問い合わせ